

科目名	事例調査・評価方法（3クラス）
担当者	山田 治徳
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	<p>行政評価や政策評価、政策分析など、行政・政策分野における科学的、合理的な分析に対する関心が高まっています。しかし、科学的、合理的な分析や評価を行うためには、個別の手法について科学的、合理的であることが必要なことはもちろん、これらの手法を科学的、合理的な仕組みの中で用いる必要があります。</p> <p>このような問題意識の下、本講義は、行政や政策をはじめとする社会事象を対象とした調査や研究、評価の仕組みやその特徴、考え方などについて、理解、習得することを目的として行います。具体的には、まずこうした調査の基本を理解し、そして各種のリサーチデザインについて、それぞれの仕組みと特徴を把握します。そのうえで、データ収集のための社会調査手法、そして定量分析、定性分析の特徴と考え方を理解し、各種評価手法についての仕組みや考え方などについて学びます。</p>
授業の到達目標	<p>調査研究、分析における考え方や手法について理解したうえで、各種の調査研究や分析を読み解いたり、自ら実際に調査研究を構築、実施できる能力を養成する。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. リサーチの基本 <ul style="list-style-type: none"> ・理論と観察 ・妥当性、信頼性 2. リサーチデザイン <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチデザインの基本 ・実験計画法、擬似実験計画法 3. 社会調査手法 <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の技法 ・調査票の設計 ・標本の抽出 4. 定性分析 <ul style="list-style-type: none"> ・定量分析との比較 ・フィールドワークの技法（参与観察、インタビュー） ・事例研究（ケーススタディ）
教科書	<p>特定の教科書は使用しませんが、毎講義時にレジュメを配付します。また必要に応じ、資料を配布します。</p>

参考文献	Trochim, W M.K., ” The Research Methods Knowledge Base” , Atomic Dog Publishing, 2001 Monroe, A.D., “Essentials of Political Research” , Westview Press, 2000 高根正昭「創造の方法学」(講談社現代新書、1979年) 今田高俊編「社会学研究法・リアリティの捉え方」(有斐閣、2000年) 谷岡一郎「社会調査のウソ」(文春新書、2000年)	
成績評価方法	割合	評価基準
	試験 %	教場試験 (in-class exam) は行いません。
	レポート 70%	期末レポートにより行います。評価は授業の到達目標の観点に基づき行います。
	平常点評価 %	
	その他 30%	出席状況により評価を行います。 したがって、やむなく授業を欠席する場合は必ず申し出て下さい。
関連 URL		
備考		